

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

3頁 「いのちへのまなざし」作成に携わって

6頁 2003年度司祭の異動

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



過越の神祕を生きる』って?
(写真は衣笠墓苑
の復活のキリスト
像です)

過越しの意味については、モーゼと共になる過越し、イエス・キリストの新しい過越し、を默想すればある程度わかる。

秘跡として見れば、特に、洗礼、聖体、そしてゆるしの秘跡がすぐに想い起こされ、この秘跡の恵みに生きることかな、と思う。

ただ当たっているかは分からぬが、「荒野の誘惑」の三つのテストについて默想し、それに応えてみればどうだろうと思う。

死んで栄光に入られたキリストがエンマヌエルとなられ、同伴者として生きて下さるのだが、何を指針とすればよいのかを、尋ねてみると。するとキリストはこう言われる。「人は、パンだけではなく、神の言葉によつて生きる」、「主である神を試みてはならない」、「神以外のものを神として拝んではならない」。その意味を「聖靈によつて、栄光の主に問い合わせ続けながら生きること」ではないか。

過越の神祕は神祕ですね。

3
2003

共同宣教司牧司教訪問

京都南部地区・北ブロック

十二月一日(日)、十四ブロックの最後の司教訪問として、西院教会の聖堂を一杯にしてミサと集会が行われた。

ミサの中の説教で、「福音宣教を行なう共同体になることは、宣教観の抜け落ちた守る信仰から、伝えたとらえていない人もいるが、共に証しする信仰に変わろう」というものである。単に新しい動きとかある。「同宣教司牧はまさに『信仰改革』である」と熱く語られた。

引き続く講話では、共同宣教司牧を導入した当初からの経緯を説明され、「今回で十四回となるブロック訪問では、それぞれの受け取り方があった。よかつた、よう分かったという人もいた。この試みにはモデルがなく、試行錯誤である。しかしアイデア、思いつきが先走りにならないよう、複数の人がチームを組んで、沢山の人で考えることにした。信徒は第二バチカン公会議で、神の民の奉仕職として期待されるようになった。それまで教会は集められ、散らばつていくイメージであったが、これからは仲間として派遣されるので

ある。福音宣教はこれでいいのかということは、個々の信徒では考えていても、みんなで確認するということはやっていなかった。これからはそれがブロックに求められることがある」と語られた。

昼食は各自が弁当を用意して、ホールで和やかにいただい後、午後から北ブロックとしての報告に続き、各教会からの報告が行われた。

北ブロック内の教会は、共同宣教司牧の受け止め方、行事などの取組に大きい差がある。その内容が率直に報告されたことに対しても、「六つの教会からそれぞれ、それらしい報告をされた。それが一つになろうとしていることが特徴である。いろいろ行事がされているが、目的がないと単なるイベントである。ブロックとしての問題を明確にして、そのためにはどう行動するか考え、行動の結果、目的に對してどうだったのかを見極めることが大切である」と述べられた。

今回の司教訪問に対し、「これまでなく盛り上がった」、「直接司教の熱意に触れ、理解が大きくなる」という声が各所で聞かれた。
(衣笠教会信徒)

共同宣教司牧ブロック司教訪問 信仰教育を一緒に考えましょう

信仰教育を一緒に考えましょう

私たちのカトリック信仰を次世代へ伝達するための子供および青少年への信仰教育は非常に大切です。

そこで、今年の年頭書簡にある「信仰共同体を体験しよう」という努力目標の具体的な実践として、司教訪問において、特に課題を教会学校(小学生)に限定して、一緒に信仰教育について考えたいと思います。

各教会での子供の信仰教育に関して、その現状とそのあり方を反省し、共同宣教司牧ブロックの教会共同体において、「共同宣教司牧の視点」から「信仰教育のあり方」を一緒に考えましょう。

特に司教の懇談会には、小学生の子供をもつ親・保護者の参加を強く希望いたします。

司教との懇談会
ミサ後、テーマ「信仰教育を一緒に考えよう」について、懇談会を行います。
○参加はご自由ですが、ブロック内の小学生の子供を持つ親の方はぜひ、それに各教会の教会学校教師会の方、各教会の教理担当者の方はご参加下さい。

○懇談会の内容は、司教講話、ブロック代表の教会学校担当者からの報告、意見交換、と進めます。

準備
各ブロックにおいて教会学校教師会で現状報告や教区への要望を話し合ってまとめておいてください。出来れば保護者との分かち合いを持ち、意見をまとめておいて下さい。

(ブロック司教訪問の日程は六ページ下段に掲載しています。)

訪問について

司教ミサ

当日は主日のミサを司教が司式します。(ブロック内の外の小教区でのミサは止める必要はありません)

司教団メッセージ「いのちへのまなざし」作成に携わつて

東京教区司教 森 一弘

昨年十一月二十八日メリノールハウスで行われた京都教区司祭全体集会での、森司教の講話の要約を紹介します。

1. 大聖年の事業について

今の大聖年の事業について
この日本社会は、何ともいえない不安と悲しみに覆われています。神がおつくりになり愛された、人間の尊いのちとその一回限りの人生が不幸な状況の中に生きているということ、それを抜け出すためにはどうしてよいか分からいでいるということ。ここにメッセージを世に送ろうと決意した一つの理由があります。

2. メッセージ作成にあたつての基本的方針

(1) 現代日本社会の家庭、夫婦、親子など、現代人が置かれている状況を踏まえる。

(3) 聖書や教書等に基づくキリスト

3. メッセージの対象

第一義的にはカトリック信者、そして日本社会に生きるすべての人々が対象である。

「信仰と同じくする信徒、司祭、修道者だけではなく、新しい世紀を生きるすべての人にいのちの尊さを訴えるこのメッセージを送ります」

4. いのちの多様性

(1) 現代日本社会の家庭、夫婦、親子など、現代人が置かれている状況を踏まえる。

「いのち」という言葉は、このメッセージでは、多様な側面を持っている。この「いのち」の多様な

教的な価値観・世界観を全面に、しかも明確に。

(4) 信者や善意ある人々を拘束するような文面・表現は避け、良心に訴え、励まし、鼓舞するような文体に。

(5) いのちや人生の神秘性、神からのたまものとしての側面を明確に。

(6) 宣教司牧の第一線に立つ司祭や司牧者たちに役立つ、宣教司牧上の具体的な対応・対策を。

5. 聖書からのメッセージから発したことについて

「私たちには、現代の日本社会に生きる人々のいのちとその人生が直面している問題は、根本的に一人ひとりの生き方、価値観、人生観に帰するものである、という

共通理解がありました。物質主義、快楽主義、この世の営みだけですべてが完結するという世俗主義、そして自分の幸せだけを追い求めようとする個人主義などが人々を不幸にし、この社会を行き詰まらせていているという判断から、私たちにいて確かに困難なことです。そ

う確信があるからです」

「このように千差万別の状態を目前にして、世界各地に適応できる解決策を提示することは、私にとって確かに困難なことです。そ

して、私はそうするつもりはありませんし、それは私の任務でもありませんし、それは私の任務でもあります」

側面を、「聖書からのメッセージ」の中で整理して読者に提示するよう、心がけた。

・神によって選ばれ愛され、男女の営みを介して創造され、この世界に誕生し、生き、成長し、老い、この地上の歩みを終えるいのち。

・「永遠のいのちにいたる食べ物のために働く」というキリストの言葉が示しているような永遠のいのち。

・キリストの死と復活の神秘によって私たち人類に明らかにされた復活に結ばれるいのち。

・「そうした不十分さを含みつつも、この時期にあえてこのメッセージを世に出すことを決断したのは、神の光に基づいた人間の生きる姿勢を人々に呼び掛け伝えることは、司教団の本来の使命である、とい

のいのちを吹き込みたいと願ったのです。

6. 良心への呼び掛けとして

この司教団のメッセージは、人々の良心への呼び掛け、生き方への呼び掛けである。

「教会の教えはこうである」という、どちらかというと断定的な表現を避けて、人々と社会に対する「メッセージ」という形を選びました。私たちのこの呼び掛けを受けて、皆さん一人ひとりが自らの生き方を振り返り、良心に従い、自分の責任において判断し、決断することを私たちは願います」

7. はじまりとして

「そうした不十分さを含みつつも、この時期にあえてこのメッセージを世に出すことを決断したのは、神の光に基づいた人間の生きる姿勢を人々に呼び掛け伝えることは、司教団の本来の使命である、とい

う確信があるからです」

「このように千差万別の状態を

目前にして、世界各地に適応でき

る解決策を提示することは、私に

とって確かに困難なことです。そ

して、私はそうするつもりはあり

ませんし、それは私の任務でもあ

りません」

福音センター
ニュース

つながってますか キリストに

2003年度 福音センター 研修案内

我にかえる
=自己発見=

2月27日、3月13日
4月24日、5月29日

ミサが
めざしている体験

3月22日

結婚講座
(第20回)

1月25日、2月8日
2月22日

絵本はいいなあ
第一火曜日

2月～12月(8月休み)
全10回

結婚講座
(第21回)

7月12日、7月19日
7月26日

病人訪問コース

6月20日～22日
宝塚黙想の家

祈りコースII

11月7日～9日
ノートルダム唐崎

隠れたところ
におられる父に
=沈黙の祈りへ=

1月31日、2月14日
2月28日、3月14日
4月11日

滞日外国人
と共に

5月2日～3日
津・研宗館

信徒奉仕者
養成シリーズ
(予定)

祈りコースI

5月9日～11日
ノートルダム唐崎

出前コース

共同体の要望に応じて
色々なプログラムを
企画します。

キリストはぶどうの木、私たちはその枝（ヨハネ15）

教会共同体はキリストの命（福音）にあずかっています。

センターでは

キリストを学び、味わい、祈り、分かち合い、相互の交わり（共同体）
を体験していくプログラムを提供します。

よろこびを伝える共同体になる一助となりますように。

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

電話 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



本当に、この人は 神の子だった

(マルコ15・39)

マルコ福音書？

みなさんは「どの福音書が好きですか」と聞かれたとき、すぐに答えがでてくるでしょうか。新約のメッセージを旧約に深く根ざしたものとして示すマタイ、「放蕩息子」のたとえやザアカイの物語などの味わい深い物語を残してくれたルカ、どこを掘ってもすばらしい鉱石が次からつぎへと出てくるようなヨハネ…さてマルコは？ そう、一番短い！（大切なことですよね）ところでマルコ福音書の特徴は何でしょうか。マルコ福音書の構成を見てみましょう。

イエス、神の子、メシア

マルコ福音書は「神の子イエス・キリストの福音の初め」(1・1)という言葉で始まり、福音書のちょうど中ごろのペトロによる信仰告白、「あなたはメシアです」(8・29)によってひとつの頂点に達します。けれどユダヤ人ペトロはイエスを「神の子」と呼ぶにはいたりません。イエスが「神の子」と認められるには、福音書の終わり近くで異邦人の百人隊長が「本当に、この人は神の子だった」(15・39)と言うのを待たねばならないのです。しかもそれはイエスの十字架刑の後でした。言い換えるとマルコ福音書は、最初の「神の子」と、最後の「神の子」の間で物語が展開しているということになります。

「神の子」とは

マルコの望みはイエスを、「メシア」そして「神の子」と宣言することでした。けれどマルコの語る「神の子」はおよそ人々が想像するような神の子とはかけ離れていました。百人隊長は十字架で死んでゆかれるイエスに「神の子」を見ました。イエスもまた、ご自分が神の子であることをはっきりと認められたのは捕らえられて大祭司に尋問されているときでした。しかもイエスはそのときご自分を「人の子」として語っておられます(14・62)。人の子としてこの世に生き、苦しみ、すべてから見捨てられたような十字架の死のなかに「神の子」が輝きでるのであります。

ともに歩むイエス

マルコはつましい日常生活の中で生きるナザレのイエスをわたしたちに示してくれます。それはマタイのような復活した主の面影ではないかもしれません。けれどわたしたちは人の子イエスに従ってこの地上の生活を歩みながら、真に「神の子」となっていくのではないのでしょうか。今年はマルコの年です。

二〇〇三年度司祭の異動

I. 司祭の異動

(四月二十一日付)

治・青谷・田辺・精華) 共同宣教
司牧 担当司祭

松本秀友師(旧任命:奈良北部ブロック担当司祭)

京都南部地区東ブロック共同宣教
司牧 担当司祭

京都南部地区長
福音センター 担当司祭を兼任

子羊会 相談役

L・ウォルケン師(旧任命:京都南部地区南ブロックA(伏見・桃山・八幡)担当司祭)

西野猛生師(旧任命:共同宣教司牧推進チーム 他に加えて)
奈良地区北部ブロック共同宣教司牧 担当司祭

J・A・ロペス師(旧任命:希望の家 所長)

F・オガンド師(旧任命:京都南部地区東ブロック 担当司祭)

京都南部地区南ブロックA(伏見・桃山・八幡)共同宣教司牧 担当司祭

II. 新しい職務の追加任命

S京都司教区代表

一場 修師(旧任命:奈良地区南部ブロック 担当司祭)
京都南部地区南ブロックB(宇治・青少年委員会 京都南部地区 担當司祭(一月一日付)

奥村 豊師(従来の任命職務に加えて)
R・ネリグ師(従来の任命職務に加えて)
カトリック教誨師(三重刑務所)(四月二十一日付)

瀬戸高志師(従来の任命職務に加えて)
青少年委員会 教区高校生会 担當司祭(一月一日付)

ブロック司教訪問日程

3月23日(日)奈良・南部

5月18日(日)西大和カトリックセンター

6月15日(日)京都南・南B

6月22日(日)三重・南勢

6月15日(日)宇治教会

7月6日(日)上野教会

7月13日(日)衣笠教会

7月20日(日)滋賀・湖東

8月31日(日)草津教会

9月14日(日)富雄教会

9月21日(日)京都南・南A

10月5日(日)京都南・東

10月19日(日)滋賀・湖西

11月9日(日)北白川教会

12月7日(日)唐崎教会

京都北・宮津

網野教会

こんなにちはシスター

ノートルダム教育修道女会

高木町修道院



まだ修道名を使っています。

ノートルダム教育修道女会は一

八三三年にドイツで創立され、ヨー

ロッパに広がり、その後アメリカ

に広がりました。今から五十四年

前の一九四八年にアメリカから四

人のシスターが来日し、鹿ケ谷に

修道院を持ち、学校を開きました。

高木町修道院は二十七年前に小

さな共同体として発足し、以来人は

かわっても、町内の方々とも仲良

く過ごしてきました。本会では珍

らしい日本家屋で、たたみもあり、

たいていの外国からのお客様が訪

問されます。卒業生やアソシエー

トの方々も来られる、お客様が割に

多い修道院です。実家に帰ったよ

うだと言われて、うれしく思って

います。

私たちを志す奉仕によつ

て神への使命を果たすことを選ん

でいます。神の似姿に創られた一

人一人の可能性が完全に開花する

よう、日々祈り活動しています。

シスター・ドロシー澤嶋ノートルダ

ム本部事務局で働いています。沖縄

県出身。

シスター・ボーラ岩城ノートルダ

ム女子学院中学高校で校長をしてい

ます。京都府出身。

の三人です。そうです、私たちは



福祉の窓

南勢カトリック
ケアハウス

伊勢自動車道松阪インターの

直ぐ側に一際高い建物がそびえ

ています。社会福祉法人聖ヨゼ

フ会松阪により設置経営されて

いる、今年開設十周年を迎えた

南勢カトリックケアハウス(五

階建)です。山々とのどかな田

園に囲まれ、老人福祉法に基づ

いて建てられた軽費老人ホーム

です。

開設当初よりカトリック信徒

の方々の入居希望者が多く、全

国各地より多くの信徒の方が入

居しておられます。二月号でご

案内させていただいた特別養護

老人ホームと道一つ隔てたとこ

ろに位置しています。

入居中に何らかの援助が必要

となれば在宅と同じ扱いで介護

度に応じたプランによりヘルパー

さんの派遣も可能です。高齢者

福祉の総合的事業を行う当法人

の各施設、機関が利用でき、安

心して生活することができます。

お元気な方の中には、隣接す

る施設へのボランティア、入居

(シスター 林 富美)

福音宣教の一環としてのテープ放送の世話を充実した一日一日を朝夕の祈りを通していただきたい恵みの下にすごしておられます。

有志の方々で、毎日病氣や苦しみの中にある人々のためにと、ロザリオの祈りと共に唱え、木曜日には早速「光の玄義」が默想されています。大祝日(ご復活、ご降誕等)の前には默想会、毎月聖書のお話が司祭により、また毎週教理の話がシスターにより行われています。

可能な方を含む)して生活可能な方(ただし、介護保険を利用してヘルパーさんの助けにより日常生活が

* 定員 五十名

* 入居条件 六十歳以上、自立

* 利用料金 管理費(家賃相当)

* サービス 食事、入浴、緊急時の対応など

* 事務費、生活費その他、最低

十万円、最高十六万円前後が

毎月の支払いとなります。入居金、敷金などは不要です。

* お問い合わせ 電話 0598(5

8) 0853

電話075(841)5964
FAX(822)2631Srマリ
ア、金芳秀まで

教育関係施設から

- ◆京都ノートルダム女子大学▼卒業式13日
- ◆聖母女学院短期大学▼卒業式13日
- ◆セントヨゼフ女子学園高等学校▼高校卒業式1日
- ◆日星高等学校▼専攻科卒業式8日
- ◆ノートルダム女学院中学高等学校▼中学卒業式20日
- ◆メリノール女学院中学・高等学校▼高校卒業式1日▼中学卒業式20日
- ◆洛星中学校・高等学校▼中学卒業式22日
- ◆聖母学院小学校▼卒業式14日
- ◆ノートルダム学院小学校▼卒業式15日
- ◆聖母教育文化センター▼公開講演会ー近畿のキリスト教ー9日(日)13時 講演者 三俣俊二先生 参加費 無料▼聖書講座 毎週金曜日9時半、月曜日19時
- ◆「一万匹の蟻運動」基金報告
- 累計三四、九五五、一三〇円
- せ075(643)2320

諸施設・諸活動から

- ◆JOC▼働いている青年の集い滋賀働く人の家(大津教会裏)問合せ090(8207)1831
- ◆京都カナの会▼結婚相談室・例会2日(日)13時半
- ◆京都カトリック混声合唱団▼練習日(日)14時、22日(土)19時
- ◆京都キリスト研究会▼定例会

- 23日(日)14時 河原町会館六階ホール
- ◆コロナリエステ▼練習第2、第4、第5木曜日10時~12時 河原町会館六階ホール
- ◆在世フランス会▼京都兄弟会15日(土)13時半 フランスの家の会
- ◆二金会▼第二金曜日10時15分場所 西陣教会
- ◆糠みその会▼例会27日(木)19時45分 九条教会ホール
- ◆レジオ・マリエ▼コミチウム16日(日)▼アチエス同日
- (一月十五日現在)

斎藤童介作 滝平次郎絵
『花さき山』他

良書紹介

斎藤童介作 滝平次郎絵
『花さき山』他

斎藤童介作 滝平次郎絵
『花さき山』他

私も何にひかれるのだろうな
と考えると、この「やしささ」
にあるのかな、と思う。

この二人のコンビで民話風の
(しかばれど全て創作)が(大
部分岩崎書店から)童話絵本と
して世に送り出されている。
絵本ではないが、文庫本とし
て、「ベロ出しチヨンマ」(角川)
『立ってみなさい』(講談社)が
ある。

彼の童話を書く理由は、
「商業主義と結ばれた無責任
の単調な繰り返しに対しても……」
又「マイホーム主義」、「よい
子教育」の泥沼化の流れに対し、
貫して「献身」というテーマ
を追求することにあると著者は
言う。

しかし、これらの童話や絵本
に感動を受けた人々には、「現代
人が殆ど失い欠けている、やさ
しさやけなげなさであり、それ
が自己犠牲や献身の問題と言
かえられる」と、論評する(小
西正保「ベロだしチヨンマ」角
川文庫クラシックス)。

四旬節に入る「苦しみについ
て黙想する時、「献身や犠牲を」
の美しさを感じると共に、もう
一つ、苦しむものへの「やさ
しさ」、苦しみを耐えている人の
「けなげなさ」を想起させた
い。

お勧めの本は他に「八郎」
「三コ」……そしてそして

大塚司教の

3月のスケジュール

| | |
|-----------------------------|-------|
| 18日(火)カリタス会理事会14時 | 10時 |
| 19日(水)宮津「京都暁星高等学校」新校舎竣工式10時 | |
| 20日(木)司教顧問会・責任役員会 | |
| 21日(金)第15回教区カトリック協議会14時 | 10時半 |
| 22日(土)司教評議会14時 | |
| 23日(日)司教プロック訪問 | |
| 24日(月)教区幼稚園保育者研修会 | |
| 25日(火)侍者合宿(遠足参加) | ミサ15時 |
| 26日(水)侍者合宿(遠足参加) | |
| 27日(木)聖香油ミサ11時 | |
| 28日(金)世界祈祷日(河原町)時半 | |
| 29日(土)聖体奉仕者・集会司式者講習会14時 | |
| 30日(日)カトリック書人協会・三重大会13時 | |
| 31日(木)ノートルダム大学卒業式10時 | |
| 京都・京都南学法理事会 | |
| 卒業式9時半 | |
| 14日(金)聖母小学校卒業式10時 | |
| 15日(土)ノートルダム学院小学校 | |
| 16日(日)草津教会ミサ(マリアの | |

◆編集部から

お知らせの情報は、5月号でした
ら3月17日までに、6月号でした
4月14日までに京都司教区本部
事務局内「京都教区時報」宛にF
AXか、またはEメール benshu
@kyoto.catholic.jp にお願いし
ます。

御心会への感謝のため)

中学生会

皆さんもすでにご存知かと思
いますが、毎年京都教区では、
中学生会合宿を春・夏・冬の三
回行っております。毎回、
教区の各地から中学生たちが集
まり、私たちリーダーと共に、
様々な事を学んだり、遊んだり
します。

昨年の冬合宿は、中学三年生
の卒業式をメインに、クリスマ
スキー作り、卒業証書作りな
どを行いました。また卒業する
三年生には、中学生会のこと、
中学校生活、そして一、二年生
へのメッセージなどを分かち合っ
ていただきました。(詳しくは
ジョバニ・ハスティ号をご覧くだ
さい)

私は、この中学生会で、様々
な事を経験できると思います。
実際、最近聞いた話ですが、あ
る中学生が、この合宿に参加す
ることによって、性格が変わっ
た、みんなの前で、何でも話せ
るようになつたという話を聞き
ました。この話を聞いたときに、
とても嬉しくなりました。

私自身も昨年の春からリーダー
として、中学生会に携わってき
ていますが、それまでは、人前
に出て、何かをするというのは
苦手でした。しかし、中学生会
や他の行事などやっていく中で、
徐々に慣れてきました。今は、
少しづつではありますが、克服
されていています。

中学生会は、時には自分の居
場所を見つけ、また時には厳し
く、優しく、そして、たくさん
の事を考え、学び、「愛のあふ
れる」ところだと思います。中
学生の皆さんには、この中学生
会で、たくさんのこと学び、
経験し、自分たちの後輩へと繋
げていって欲しいと思います。

さて今年の中学生会春合宿で
すが、すでに各教会に案内が届
いています。来たる三月二十六日(木)~二十八日(土)
良のカトリック野外礼拝センター
での開催です。いろいろな企画
を考えていますので、多くの中
学生のご参加をリーダー一同お
待ちしております。

中学生会リーダー 土岐仁美

なお、合宿に関するお問い合わせは、青年センターまでお願
いします。

青年センター
電話075-822-6246
火曜~土曜:十四時~二十一時